



園庭のもみじが赤く色づき、落ち葉をたくさん集めてもみじ狩を楽しむ子どもたちの姿が見られています。

先月はうみ組、にじ組が一緒にお芋ほりに行くなど、この時期ならではのイベントを楽しむことができました。

お芋ほり当日はお天気にもめぐまれて、遠足日和 ✨

電車に乗って、永山駅から歩いて畑を目指しました。

いもほり遠足は初めてのうみ組さんは、電車に乗る前からワクワクしている様子でした。

畑に到着すると、広々とした畑にテンションが上がり、大はしゃぎの子どもたち！

軍手を装着して土を掘っていくと、中から大きなお芋がどっさり。

「ゆうきさーん！みづきさーん！さとみさーん！見て見てーーーーー！」

と大興奮でした😊

自然の中で食べるお弁当も格別！大満足な一日でした♪



そして、別の日には掘ったお芋でクッキングを行いました。

ピーラーで皮をむいたり、包丁で切ったりと少しドキドキ緊張しながらも

大人と一緒に上手にできました。

エプロンと三角巾も嬉しくて、終始笑顔いっぱいの子もたちでした♪



秋らしい体験ができた11月。これからも様々な経験を通じて子どもたちの心や体がのびのびと育っていく姿を大切にしていきたいと思います。

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿「豊かな感性と表現」について



10の姿における「豊かな感性と表現」とは、季節の変化や友だちとの関わり、遊びの中で感じた気持ちを大切にして、それを言葉や絵、身体の動きなどで表す力を育てることを指しています。

子ども会などはまさしく、音楽に心が動いたり、友だちと気持ちを合わせる嬉しさを感じたりと、子どもたちの中にさまざまな「感じる力」が育っていく代表的な行事であるといえますが、日常の中でもそのきっかけや出来事はたくさんあります。

雲がくじらみたいな形してる～

いちょうってうんちみたいなにおいするね

もみじが赤くなってる！

(鳥の群れを見て) あの鳥さんたち、競争してるのかな？

こういった子どもたちの小さな発見や経験からごっこ遊びに発展したり、不思議と感じたことを調べてみたり、絵に描いてみたり、作品にしてみたり…と日常の何気ない場面にも豊かな感性と表現の育ちが表れています。

大人はその小さな気づきや何気ない一言をしっかりと受け止めて、感じたことを共有して表現の楽しさやおもしろさにつなげたり、子ども自身がそれぞれに表現する楽しさを大切にするなどして、子どもたちの育ちのお手伝いをしています。

12月の子ども会では、役になりきって演じたり、友だちと一緒に歌をうたったり子どもたちなりの「表現」をたくさんご覧いただけるかと思います。子どもたちの頑張りや成長を、一緒に感じていただけたら嬉しいです。

うみ組はブレーメンの音楽隊！はりきって練習をしています！

